
5070. 原産地内取内容呼出し

業務コード	業務名
OAB	原産地内取内容呼出し

1. 業務概要

入力者が通関業、輸出入者の場合は、以下のどちらかのパターンを入力し、システムに登録されている原産地証明書情報のうち、「原産地内取内容仮登録（OAC）」業務に利用しうる情報を呼び出す。

①「N-C/O番号」及び「欄番号*1」

②「C/O番号」、「eC/Oキー」、「国コード*2」及び「欄番号」

入力者が税関の場合は、以下のどちらかのパターンを入力し、システムに登録されている原産地証明書情報のうち、「原産地内取内容税関確認後訂正確認（CUC）」業務に利用しうる情報を呼び出す。

①「N-C/O番号」

②「C/O番号」及び「国コード*3」

(*1) 呼び出し対象の欄番号がある場合に入力する。欄番号を指定する際は4桁の番号を入力する
(例：0001)

(*2) 「C/O番号」と「eC/Oキー」の組み合わせを入力した結果、原産地証明書情報が複数件存在する場合に入力する。

(*3) 「C/O番号」を入力した結果、原産地証明書情報が複数件存在する場合に入力する。

2. 入力者

税関、通関業、輸出入者

3. 制限事項

なし。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

①システムに登録されている利用者であること。

②入力者が通関業であり、かつ「原産地証明書利用者登録（OUA）」業務にて既にC/O利用者（通関業者等の利用者コード）が登録されている場合は、C/O情報DBに登録されているC/O利用者（通関業者等の利用者コード）と同一であること。^{*4}

③入力者が輸出入者であり、かつOUA業務にて既にC/O利用者（輸入者コード等）が登録されている場合は、入力者の輸出入者コードまたは法人番号が、C/O情報DBに登録されているC/O利用者（輸入者コード等）の輸出入者コードまたは法人番号と同一であること。^{*4}

(*4) 入力者が通関業かつ輸出入者であり、OUA業務にて既にC/O利用者が登録されている場合は、②もしくは③のいずれかを満たすこと。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(3) C/O情報DBチェック

①入力された「N-C/O番号」、「C/O番号」、「eC/Oキー」、「国コード」、「欄番号」がC/O情報DBに存在すること。

②該当する原産地証明書情報が複数に分割されてNACCSに送られてくる場合は、全て受信完了していること。

③該当する原産地証明書情報がキャンセルされていないこと。

④入力者が税関の場合は、該当する原産地証明書情報に、以下のいずれかの確認状態の内取情報が登録されていること。

- T : 税関確認後訂正
- X : 税関確認後取消済み
- Z : 税関確認後仮登録済み

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(2) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
原産地証明書内取内容登録情報	入力者が通関業または輸出入者の場合	入力者（通関業または輸出入者）
原産地証明書内取内容税関確認後訂正確認情報	以下の条件を全て満たす場合 ①入力者が税関の場合 ②該当する原産地証明書情報に確認状態「T」「X」「Z」のいずれかの内取情報が登録されている場合	入力者（税関）

7. 特記事項

(1) 各欄の内取内容の出力順序は仮登録を行った日時での降順とする。

(2) 欄の表示方法は以下とする。

(A) 欄番号を指定した場合

「欄番号」に入力された値から数えて250欄目までを表示する。

(B) 欄番号を指定しない場合

1欄目から最大250欄目までを表示する。